

背景・課題

新ひだか町は、花き・野菜の栽培が盛んな地域であり、特にデルフィニウムやミニトマトは北海道を代表する産地となっているが、土壌の透排水性改善や病害の抑制など土壌環境の改善が課題となっている。

目指すグリーンな栽培体系

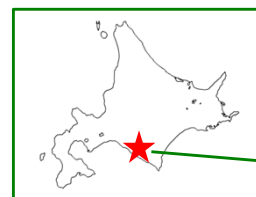
土壌へのバイオ炭施用により、土壌の物理性や化学性などの改善を図る。

また、慣行の土壌改良材に替えてバイオ炭を施肥作業と同時に施用することによる省力化（耕起段階の作業工程の減少）と環境モニタリング装置の導入による、ハウス内の見回り回数の低減を検証する。

取組の内容

生産

- 土壌環境改善において、慣行の炭酸カルシウム施用をバイオ炭施用へ変更することで、土壌環境の改善とともに、温室効果ガスの削減を図る。また、バイオ炭施用は施肥作業と同時に行えることから、省力化の効果も期待。
- 環境モニタリング装置の設置により、常時モニタリングを可能とし、ハウス内の見回り回数を減少。身体的・精神的負担の軽減を図る。
- 地域の農業高校が協議会に参画。生徒の事業参加により、みどり戦略実現に向けた人材育成の効果も期待。



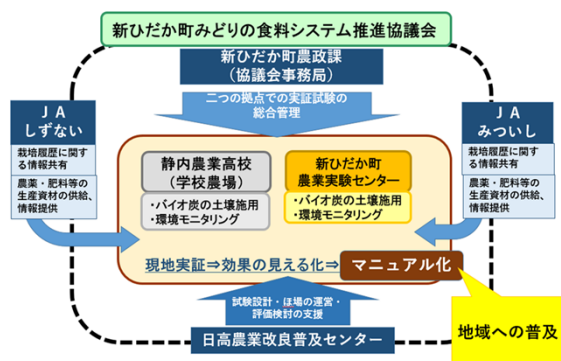
新ひだか町

構 成 員

新ひだか町、JAしずない、JAみつしいし、日高農業改良普及センター、北海道静内農業高等学校

品 目

ミニトマト、デルフィニウム



取組時期

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月



北海道立総合研究機構林産試験場
研究職員によるバイオ炭に関する研修会



デルフィニウム施設内施肥及び
バイオ炭施用
(新ひだか町農業実験センター)



土壌分析用サンプルづくり
(北海道静内農業高等学校)

普及に向けた取組

事業検証結果を踏まえ栽培マニュアルを作成し、関係機関等HPの掲載等により発信する。また、検証に用いた学校農場や農業実験センターのほ場を展示ほ場として活用し、新たな栽培技術の普及を推進。

問い合わせ先

新ひだか町産業建設部農政課・農産係 TEL: 0146-33-2113